明治三十七年四月七日第三種郵便物認可

# 明治の女子

第六卷
第四號

日本基督教女子青年會



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治の女子　第六巻　第四號

## 目次

聖書研究の指鍼　記者

特別寄書

立志と祈禱　柏井鴻峯生
ブラウニング夫人の話　同上

講壇

女子教育に就て　江原素六氏

訪問

林歌子女史を訪ふ

史傳

女子大學創設者メリー、ライオン　丹羽清次郎
賢母モニカ(上)　白井胤祿

もしほ草

イーストルの朝
手綱を神に托せよ

會報

大坂ウヰルミナ女學校青年會○横濱共立女學校青年會○小石川女子傳道學校青年會○盛岡女子青年會

### 明治の女子定價

| 部數 | 定價(郵税共) | 海外 |
|---|---|---|
| 一部 | 金五錢 | 金九錢 |
| 十二部 | 金五十錢 | 金一圓 |

明治四十二年四月十四日印刷
明治四十二年四月十五日發行

東京市麴町區土手三番町十五番地
發行兼編輯人　エー、シー、マクドナルド

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷人　島連太郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷所　三秀舍



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治の女子

第六巻第四號

（明治四十二年四月十五日）

# 聖書研究の指鍼

蓋世の英雄ナポレヲンは『聖書は普通の書籍に非らずして行爲と凡ての能力とに超越する勢力を有する活物なり、記する所悉く崇高雄大、眞個に神の言也、我れは之を愛讀するを怠りしことなく而して之れをなすや常に新らしき喜を増す』と云ひ又近世の大文豪ゲーテは『我が道德的及び文學的の生涯を指導したるものは、深き瞑想の結果たる聖書に對する尊敬と信仰なり』といふ世界の大文豪、博士、將軍、事業家にして聖書の價値に就て證明する處を擧ぐれば聖書が如何なる階級の人々にても研究せられ、又多くの國民の品性の上に如何に宏大なる感化を及ぼしつゝあるかは明白である、夫れで現今に於ては基督者、不可思議論者、猶太人、凡神論者其他宗敎に信仰を有たないものと雖、皆等しく聖書を尊び之を研究するの必要を認めて居る、今其理由如何と考ふれば直は左の數點は吾人の胸中に顯はれ來る。

**聖書の價値**

（一）聖書は他に比較なき史傳の一大寶庫である、ヘロデトスの夫れよりも、もつと量に於て豐富にプルタークの夫れよりももつと質に於て高貴なるものてある、故に苟も其品性を修養せんと欲するものは、必ず聖書に顯はれたる高大なる人物、淑德ある女性の史傳を研究するの必要がある。

（二）聖書は罪の惡むべきことに關してセーキスピヤよりも深刻に、イブセンよりも嚴格に、罪を追跡呵責し其正體を曝露し、良心の光を輝かさしむ、故に世に在つて、誘惑及び罪惡に恐る可き事實ある限り、吾人は聖書に依り之れに打勝つの秘訣を學ばねばならぬ。

（三）聖書はギボンの羅馬史よりも春秋史記よりも、もつと峻嚴に邦家の隆頽興亡の依つて來る大原理を示して居る、大體より云へば舊約書は社會及び國民の道德と政治とを指導せんとするものにして、新約書は强大なる國家を建設し、地上に神の王國を擴張するに必樞なる個人の品性の修養法を敎誨するものである故に現今日本及び諸外國の前に橫はる總ての問題の根底には必ず道德的の大主義の存するあるを知る時は、國を憂ふるの士女は自ら聖書に關する深き知識を有するを以て最大必要とすべきである。

（四）聖書は靈的生命に吹鼓を與ふるに於て他に比類なきものである、實に聖書はデクインシーの所謂「勢力の文學」である、勢力の泉である、其の中に含む所の靈的思想は河の如く其水はアモス、イザヤの如き大豫言者の敎訓となり滔々とし



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て流れ漲り溢るる勢を示し、然して遂に基督の品性と其生活に至つて宏大にして完全なる太洋となる而して今假に聖書にして耶蘇の生涯と敎訓の外に何者をも含まずとするも世界に於て最も勢力ある書物である、而して、書中基督の人物は其最も重要なる地位を占むるとは云へ、舊約の社會的敎訓と聖ポーロの書簡中の倫理的及び靈性的敎訓とを經緯として居る實に一卷の聖書は凡ての階級を通じ、凡ての人種に渡り、古今の人にも對し、敎訓と鼓吹とを與ふ、聖書は貧富の別、智愚の分ちなく等しく敎訓を與ふるものにして、ヴィクトリヤ女皇が大英國の偉大なる秘密を問ひたる亞弗利加の酋長に答へ「英國の偉大なる所以は聖書の大敎訓に則るに在り」と言ひし如く、又「クロロフヲルム」の發見者たるシンプソン博士が其の死の褥に在る時、博士の發見せし多くのものゝ中にて最大のものは何ぞやとの質問に答へ「我は罪人にして基督耶蘇は其救主なりとの知識を聖書に依つて得たるもの是れなり」と云ひし如きは皆聖書の勢力と其感化の偉大なるを顯はすものである。

若し以上の理由にして確實なるものとせば、凡ての識者は充分に聖書を研究することを以て義務であり、又特權とせねばならぬ筈ではないか。

**簡便なる方法**

然しながら自ら聖書の研究を初めたるものにして困難と無趣味とを感ずるもの少からず、勿論、指導者なくして研究せんとするものは、其研究の無味乾燥なるを思はん、抑も聖書は六十六卷より成れる一大書籍にして其含有せる種々なる書籍の著作の時代と思想の進歩の順序とに重きを置かずして現在の有樣に編れたるものなれば、研究者は必ず適當なる指導者を得て如何なる書を初めに研究すべき乎、如何なる順序は研究の最良のものたるやを學び、又現代の研究者は理解し難き句節中に隱れたる意味と他書より引照の文字の意義とを知ることが必要である、而して若し誰れでも熱心に聖書の研究を思ひ立ち然も敎を受くる者なく、又參考すべき書物なしとせば先づ馬太傳五、六、七章に顯はれたる耶蘇の山上の垂訓を精讀し、更に路加傳の第三章より末迄を研究し、進んでは約翰傳か羅馬書を勉學するが宜しからん。

**研究の大進歩**

北米及び大英國の學生は過去二十年間に於て聖書を組織的に研究することに著しき進歩をした、十五年前には加奈多及び合衆國に於て自ら進んで聖書を研究する學生は五千人より多くなかつた、然るに現時に在つては其數五萬人に達した、尚殆んど同數の女學生は自ら進んで聖書を研究した、何故にかくの如き研究の成功を學生間に見るに至りしやと問ふに其理由に概略次の如くである。

**懇談的方法**

學究的にして然も簡明、興味多くして然も進歩的の學科を特に著作す、而して研究の方法は普通の如く敎授の講義を聞くよりも寧ろ學生が指導者となつて懇談をなすのである。故に各組の各員は自由に其議論を發表するを得、又自ら先づ勵んで研究するに至るのである、且つ各級の指導者は聖書を敎ふるに最も熟練したる人々に依つて





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

特に訓練さるゝのである、尚各自が聖書の眞理を日々の生涯に適用し、且つ人々を基督者となすことは總ての聖書研究會に於て最も重んぜられて居る。斯の如き研究の方法は多くの人々をして益々熱心に聖書を研究するに至らしむるのみならず、聖書研究其ものを高尚なる基礎の上に置き教授及び學生一般の協賛を受くるに至るのである。

**代表的實例**

尚前途の方法の結果に就て一層明白なる觀念を得ん爲めには北米イリノイス州大學青年會の實行方法を詳かにするを可とす、此大學は州立である、故に宗教に對しては中立なれば凡て宗教上の感化は悉く基督教青年會を通じて來るものであるが、其活動は殆んど凡ての教授の協賛する所である。而して聖書研究を實行する方法は次の如し。

（い）前年春期に於て聖書研究委員は來學期中に實行すべき聖書研究に關する充分なる方針を立て、而して之を青年會の總て主導者の出席する晩餐會に於て披露する、而して其主導者は最も熱心に之を實行せん爲めに盡力する。

（ろ）夏期休校中に聖書を研究すべき理由、研究の項目、來學期間の指導者の姓名等を印刷し之を豫て大學の書記官より得たる名簿に依り總ての新來學生に送る。

（は）九月の學期の初めには四十五名に依つて成る委員會合し、直に八十個の聖書研究の組の爲めに指導者、集會所、報告の印刷等の準備や、撰定をなす。

（に）市俄古大學より有力なる聖書講演者を聘して一大集會を開きたる結果、當時一百名の學生は種々なる組に加はつて研究する決心をなせり。

（ほ）四十二名の委員は最寄りに從ひ全市の寄宿舍及び下宿舍を分擔し、各員は其方面に於ける學生を訪問し、聖書研究の組々に加はることを奬勵するの責任あること、かくして四百名の志望者を得た。

（へ）全市の教會の牧師と協議し彼等をして各教會内に學生の爲めに特別に研究の組を置くことに協力せんことを約束せしめ、一方に於ては各教會に出席する學生に招狀を送ることとせし爲に、牧師も勵んで研究の組々に學生を加へることにした。

（と）尚別に秘密同胞聖書研究委員を立てゝ種々なる「グリーキ文學」秘密結社の中に研究會を設くることになつた。

**驚くべき結果**

此等の熱心にして組織のある盡力は八十の組に分配されたる一千人の學生を得るに至つた而して小數の或る組のみ教授及牧師に依つて導かるゝが大多數は學生に依つて指導されつゝある。而して各組を通じて各自の靈的生活を富まし他人を信仰に導く其最も切要力なるものとせられた。一月は他の大學より聖書研究に堪能なるものを招きて聖書講演を開き指導者及び近傍の大學よりの代表者を敎ふる。

**代表的運動**

前述の活動と其結果は決してイリノイス州大學に限られたるものに非らず、只之れは加奈多及び合衆國の多數の大學に依つて實行された代表的のもので





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

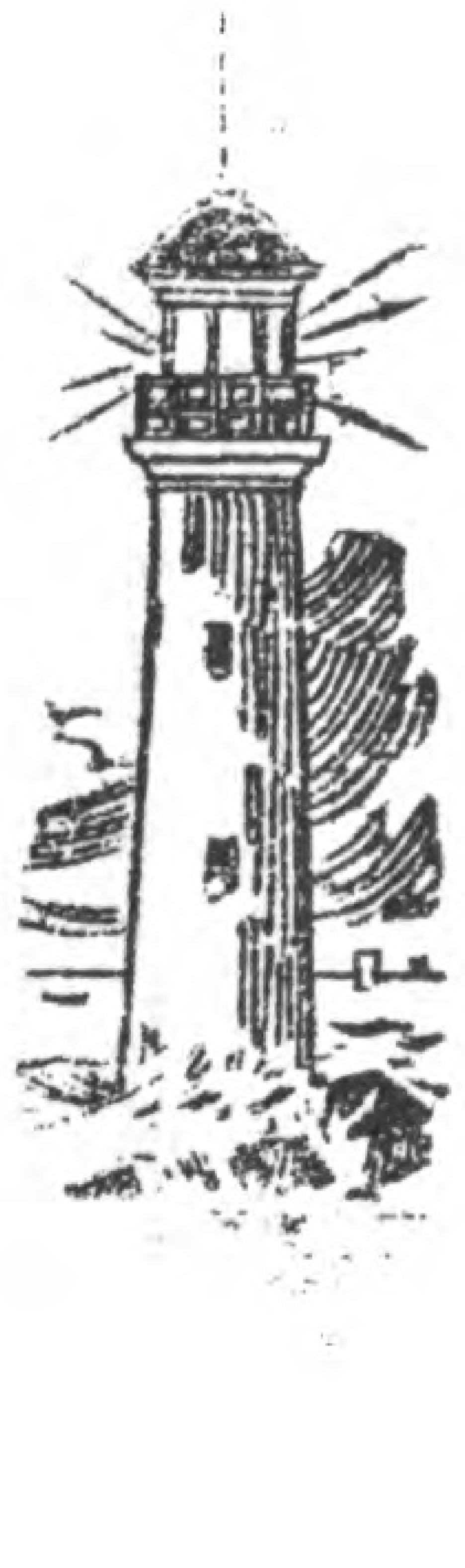
ある、尙大英國及び濠洲其他の國に於ても同樣の主義方針を狹き計畫に依つて實行せられたが矢張相當の結果を得た、我國に於ても同樣の方針を實行せられざる理由がないと思ふ只茲に最も大切なるは斯かる實行的方案を立て、之を實施する爲めに大なる忍耐と信仰を有することである。勿論日本現今の實情は之を泰西に比べて聖書及び基督敎の智識に於て大に相違して居るであらふ、從つて前述の如きことを實行するも其結果は少なからふ、去れども吾人の主張する要點は彼此同樣の主義方針を實行し得らるるであらふと云ふことである。現に日本に於て實行されつゝある青年間の聖書研究會の結果は大に見るべきものがある、之れは青年を信仰に導き、敎會に導くに於て大なる手段の一となつて居ると云ふも過言でない現今青年會の聖書研究會に於て千人以上の青年は絕えず出席して居る此組々の半數は英語に依つて敎へられつゝある。

**我國の缺點**

我國に於て聖書研究を奬勵する上に於て三個の困難がある(一)は青年の聖書に關する智識の缺いて居ることで之れは日曜學校がまだ幼稚で且つ小さいからである、(二)は適當なる敎師の少數なることと(二)は善良なる學科書と適當なる參考書の無きことである然し此等の缺點あるに拘はらず、聖書の研究は常に進歩し、之れに依つて多くの人は其靈性上に大なる勢力と光明とを受けつゝあるのである

**クーパー氏歡迎の主なる理由**

此等の缺陷が一般に認められ又敎會及び青年會に於て聖書研究會を擴張すべき熱心の盛ならんとする時に當り、クレートン、クーパー氏の來朝せらるゝは實に氏を歡迎する理由の重なるものである、氏は北米合衆國基督敎青年會の聖書研究主任幹事として米國大學内に聖書研究を有効ならしめたことに於て何人よりも功績の多い人である、吾人にして若し充分氏の來朝を利用して一般の青年及び敎役者をして、組織的、自動的進歩的の聖書研究の必要を悟らしめ、且つ新に聖書研究の組を起し、適當なる敎科書を出版し、尙夏期學校に於て前年よりも、より多く聖書研究に重きを置く等のことを實行する時は必ずや總ての青年會は今年の終りに於て此點に於て著しき進歩の好報告をなすことを得るであらふ、然し茲に最も必要なるは各青年會の役員が其困難の如何に拘はらず其目前の結果の小なるに拘はらず、自ら進んで計畫を立てゝ之を實行すべきことである、此自動的運動と之れを實行する爲めに大なる忍耐を有することゝ、又其將來の成功を信ずることはクーパー氏の來朝に依つて蒔れたる種子を收獲するに最も必要なるものである。





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 說苑

## 立志と祈禱

鴻峰生

テニソン「イン、メモーリヤム」のうちにベタニヤのマリヤを咏して曰く靜默なる祈り彼女の眼中に停まれりと。一句能く敬虔なる人の風姿を寫し得たりと謂ふべし。人若し能く淸き思を籠めて誠なる祈りをなし神の恩惠を受けたる時に於ては、其眼睛態度に表はるゝ所自ら掩ふべからざる所あらん。精神充溢して然かも端然として亂れず。麗玉の光彩無限にしても渾然たるが如き所、これ靈想なき畫工の畫く能はざる所なり。

態度に表るゝ所亦以て其志に及ぶ所を見るべし。志は祈禱によりて養はれ、志は又祈禱の力となる。已み難きの衷情神に向ては祈となり、事に向ては志となる。故に神に向ふの精神強き程他に向て爲すあるの精神又盛大ならざるを得ず。思ふに此等の事に於る經驗乏しき吾人之を說くに足らざるは固よりなりと雖も、然も古の人の跡を考へ、到る能はずと雖も心之に嚮ふ所なからんや。

人艱難の世を閲し一生の行路漸く終に近つき過去を回顧して大なる遺憾なく坐ろに感謝の涙に咽ぶ。是の如き人の祈り甚だ貴むべし。然れども年少有爲の士一朝感激する所ありて逸樂利己の動機を斷ち、言ひ難きの憤慨を含蓄して之を隱れたるに見給ふ神の前に誓ふとき人生の高尚孰れか之に勝るべき。ハンニバルが幼時父の手にひかれて神殿に入り報國の志を誓ひたるが如き、佛國の一小女が牧場の邊へにて國難の爲に祈りたる間に身に餘る大望を起したる如き、或はサボナロラが深く一身の悲哀に動かされ時の腐敗を憂ひ、曉風新綠の晨に小笛を吹きて母に別を告けたる如き、其淸高秀潔、吾人は名工の手を假りて之を白色の大理石に彫刻したく思ふなり。何人にても物に感じ時に古人を懷ふに足るべき心情の動搖し來ることなからんや。如何せん濛々たる浮雲胸中に滿ち易く千里を照すべき皓月は僅に顯はれて復隱る。抑この浮雲は如何なる所より出て來るや。何の熱氣が之を蒸成するや予輩は思ふこれ利己の心より來ると。凡そ人の精神を小くし卑くし見苦しからしむる者利己心より甚しきものあらず。何をか利己の心と云ふ。單に肉體上の快樂安全を目的とするの利己心は固より言ふに足らず。この外吾人の敵となるべき利己心一にして足らず。即ち自己の感慨感情に役せられ狹隘なる方寸の中に籠城して他人の同情を得んことを求め側目して人の俗なるを笑ひ己の更に俗なるを知らず。これ一種の利己心にして一種の僞善なり。是の如きは眞に禍なり。夫れ基督の敎は心の中なる天地の大にして又美しきを敎ふるものなり。然れどもこの中に尋ね求むる所は自己の面目にあらずして神の聖顏なり。聖アウガスチン曰く神は吾人の內に在る者の最內部に存する者なりと。

吾人が心の中に神を見出すは即ち神の中に自己を見出すなり利己心の範圍を破りて限なき天地に逍遙するの時なり。自己よりも神を愛し神の事業の爲に身を獻ずるの志は是に到りて始めて確なり。若し夫れ己を知りて未た神を知らず形骸の中なる靈界を知りて形骸以外の靈界を知らずんば煩悶苦惱して所謂心を食ふ人とならんとす。且夫れ人生の事業は多くは衝突なり戰なり。大なる志は大なる衝突の間に生じ、大なる誘惑に勝て後始めて堅固なり。然れども自己以外に愛すべきもの祈るべき者なき間は眞の誘惑すらもあらざるなり。見よキリストが惡鬼の誘惑に會ひ給ひしは四十日四十夜野に在りし後にあらずや。吾人の心中に紛々として起り來る所の誘惑と衝突は甚小きものにして之に勝てばとて大なる効果あるに非るなり。若し夫れ己が心を一にし精鋭を集めて神に向はんとするの時惡魔も亦初めて其精鋭を集中して最後の戰に出て來るなり。故に曰く眞正の誘惑は祈りの中に生し眞正の志又祈りの中に立つ。左れば第一に思ふべき所は吾人は自己以外に愛を繋き力を得る所なかるべからずと云ふとなり。第二はこの希望を充たすべき者は神の外に之なきとなりと。乞ふ聊かこの第二の點を說かん。

骨肉明友の恩愛に感じ之によりて自ら潔め奮發するもの古より例なきにあらざれども、獨りこれのみによりて志を立つるものは之を失へば蹉跎せざるを得ず。人の世は思の外に淺薄なることを忘るべからず、神を知らずして自己を知ることの危險なるは前に說けるが如し。然して神を知らずして人を知るも又同く志を害す。厭世憔悴の人とならずんば齷齪瑣小の人とならん。孟子曰く我能く言を知り又能く浩然の氣を養ふと。一語蓋し少なからざる苦心を見る。道德上の批判力精細に進むに從ひ其人にして浩浩たる道德上の大勢力、大感動の胸間に横溢するものなくばこれ實に親しみ難き人物に非ずや。吾人は想ふ人生の行路漸く半に近づくに從ひ今迄は野に茂れる夏草の如く孰れとも見分け難かりし朋友も漸く榮枯禍福の道を異にし、賴みとなせし人漸く賴み難く、平々坦々輕車に駕して熟路を走る如き一方には淚を飮んで人の立身を祝する人も出で來るべし。嗚呼人何を以て堪へんや。是時に於て吾人は人を怨み世を厭ふて終るべきか。將た是の如き世にありて名利の爲に一生を送るの賤しむべきを知り骨肉朋友の爲又苦める人の爲にこの身を獻ずるの俠心を振興すべきか。祈禱の精神の如何は兩徑の分るゝ所なり。たゞに人の身を思ふの心は自ら沮喪するに過ぎざれども、人の爲に祈ることは却て人を發憤せしむ。亦以て人間の交が神を得て初めて全きを知るべし。キリスト將に世を去らんして弟子の爲に祈れる中に、「我彼等の爲に自己を潔む」と云ひ給へり。夫れキリストは始より清聖にして一點の汚れなきは勿論なり。其潔むべき所何くに在るやとは吾人の怪しむ所なれども又思ふに潔むるとは獨り汚れを謂むるの謂にあらず。進んで神の聖なる事業の爲に自を効し其氣力、才能、生涯を靖獻するの謂にあらずや。薄弱なる弟子の爲、信徒の爲に祈るの心はキリストに於てすら猶この大志を刺激するの力となりぬ。是より先キリ



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ストー山に上り十二人の弟子を撰び托するに傳道の事業を以てす彼等と倶に祈りて後家に歸る。此時親屬は彼を見て狂せりとし、學者は魔王の力を籍るとなせり（馬可三章）。想ふに歡喜、感憤其胸中に縦横して意氣壯烈當るべからざる勢ありしならん。

## ブラウニング夫人の話

コルクパン女史の追懷錄中の一節

永き年月の雲煙を隔つるも猶明に憶ひ出さるゝは予が母に共に巴理に住ひし頃ブラウニングと其夫人がわが家に訪ひ來られし一事なり。予は猶いと幼き頃なりしが、一日母のいひ給ふやう、今日は二人の詩人吾家に訪ひ來るべしと。予はいまだ詩人と云ふものを見しことなかりければかのダンテやタッソーなどの畵にて見たる如き頭には橄欖の枝を纒ひ付けたるものならんと思へり。されば家僕がブラウニング君夫人ともにきませしといひつゝ戸を開きしときは痛く失望の情ありき。いと質素なる茶色の衣裳を着け麥藁帽子を被りたる、體さへ大きからぬ貴女と褐色の外套を着けたる愉快げなる紳士が世にもてはやさるゝ大詩人ならんとは。彼等はペンニーと名くる幼き男兒を伴へり。美はしき髮長く垂れ白地のッポンの縁をば縫箔せしを穿き、何となく女の兒の如き風ありき三人の後には褐色の毛にて金色の眼の犬つき來れり。吾らが住ひし家は建物の五階なりしが故、夫人は階子を登る間にいたく疲れたりと見え、色蒼白く息忙はしげなりき。わが母は夫人を導て大なる低き椅子に座はらしめぬ。かく大なる椅子の上にては一層瘠て小く見えたり。予は猶記臆す。詩と云ふ者は何れのあたりにあるべきかと驚き怪しみながら頻りに夫人の顔を打守れり。而して夫人の眼の黑く大にして氣象に滿ちたる所ぞ詩の住める所ならんと思へり。夫人の濃き髮は其頬に掩ひかゝりて、顔は目と髮ばかりなり、内の犬にも似たりと思へるもをかしかりき。

かくて數分間は四方山の話しに餘念なく、側に聽ける予はかゝは大詩人にても世の常の話しをなすにやと怪しめり。暫くして夫人は予をまねき寄せぬ。予はこれ程の婦人がわが如き小兒に何を話すやらんと、はづかしながら近よりしに、夫人は予に接吻し、ペンニの手をば我手に握らせついふ樣、「卿とペンとは朋友となり給へかし。ペンはフロレンス生れにて候ぞ。以太利と云ふ所は照る日の麗かさいつも黃金の如くなれば、この兒もかく黃金色の髮にそなり候ひぬ」とてペンニの頭を撫でたりき。

程なく茶のもてなしありて盃には大なる梅菓子を入れありぬ。かの犬はこれを見て尾をふりけるに夫人は予に向ひいふやう、「この犬はフラッシとて予が親しむ老犬にて侍るなり。一年程病の床にありしときフラッシはいつも傍を離ることなく蓐より手を出せば縮りたる髮と冷き鼻を撫得たり」フラッシは女主人の顔を仰ぎ見て頻りに求むて所ある樣子なり。

予はパンの一片を取りバタをつけてフラッシに與へけるに

彼はこれを受ながら食ふことなくあたりの大なる黄色の長椅子の下に陰れぬ。予は叉盆の中なる菓子をとりて與ければ嬉げに食し終りぬ。ブラウニング夫人予にさゝやく様「長椅子の下を覗ひ見給へ、パンとバタはそこに隱してあるべし。フラッシはいと行儀よき犬なれば人より與へらるゝ物は辭むことなけれど、梅菓子の欲しさにパンとバタは食はずにあるならん」

ペンニと予は座上に臥しつゝ長椅子の下を打のぞけば果して三片のパンは行儀よくそこに列べありぬ。夫人はいつも右の手にてペンニの頸を抱き其指の間に金色の髪を挾みたる様いと美しかりき。數日の後予はブラウニング夫妻のフロレンスに歸りたるを聞けり。其後母の許に手紙の來ることは度々見たりしも、ブラウニング夫人とは其後相見たることなかりき。

## 講壇

# 女子教育に就て

江原素六氏

女子教育と云へば高等女學校並に同等程等の教育を總稱して云ふのであつて小學校時代のことではない、此高等女學校及び同等程度の女學校に通學する者は取りも直さず社會の中等人種である、勿論上等も交つて居るが概して中等と云つて宜しい、而して何れの國に於ても國家の隆頽は中等人種の理想、智識如何んに在る、中等人種の人が國家の中堅であれば女子教育と云ふことは國家の隆頽に關係することは非常に大なるものである事は論ずるを俟たない、而して當時の女子教育は其結果如何んと云ふに予は概して良好なりと云ふに躊躇しない、先づ電話がかゝれば速かに返辭が出來る、最早吾々位ひの女の老人は到底電話の役を爲ないのである、叉手紙を書く事にしても巧みに衣服の着こなし、言葉の遣ひ方、或は叉帳簿なども好く記けて計算も出來る、先づ中等社會の婦人としては滿足の結果を得て居ると云つても宜敷いのである、けれども學校教育としては確かに滿足であるが更に學校を離れて家庭に入ると中等の教育としては多少の缺點がある、中等以上の人の妻君となるには申分ない資格があるけれども實際中等の家庭に於ける妻君と云ふものは拭掃、炊事、裁縫、



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

或は又必要な用談を簡易明白にする辯舌接對と云ふ樣のことも大切な問題である、然るに今日の學校教育は其方面に於ては極めて幼稚である、裁縫にしても中々眞實に出來ない、又割烹のことも甚だ拙いと云ふことは中等の家庭に於ては甚だ迷惑するのである、近頃も私の知人がお嫁さんを貰つた而して他から祝ひの爲めに送られた二枚重ねの小袖を縫ふのであるが、而かも其人は裁縫學校の卒業生である、其處の姑が云ふに表の長いのは困るから上げをして置きなさい、裏は斯ふして上げると嵩ばつていけないから肩で縫ひ込んで置きなさいと云ふ、所がお嫁さんフンと鼻で應つて遂に裏を表ての丈けと同じ樣に切つて了つた、夫と共に外出して居うち裾が切れた、すると肩に縫ひ込んでないから延ばすことは出來ない遂に全部裏を更へなければならぬと云ふこととなつた、其樣云ふことを教はつても出來ない、フンと云ふて笑つて了ふ、吾々中等社會と云ふものは、さう勝手に買へるものではない誠に家庭に於ける經濟と云ふことに就て注意を爲なければならぬ、如斯く總て餘り金のない中等人種の妻としては現今の教育は立派過ぎて其等の方面に能く發達して居らないと思はれるが其發達せない理由は二三箇條あると思ふ。

予は昨年文部省で日本全國の高等女學校長を集めて會議をした時に一日傍聽に行つた、何百人であるか中々の人數であつた然るに其中に女の校長は僅か二人計りであつたと思ふが而かも其れは私立女學校の校長で堂々たる公立の女學校長は皆男である、男子が此女子教育の全權を握つて居ると自然男と云ふものは裁縫や臺所のことなどは無關係の人間である、其れが女子教育を一切握つて居ると云ふのであるから自ら女子普通の本分たる所は粗そかになるのは當然の結果である、惡く云ふと文部省では最早彼の中學の校長も大分老年だ、青年の教育には如何であらふか女學校の校長にでもしたら宜からふと云ふ風で中には中學校の校長に或に教員に元氣が足らないとまづ左樣の者なぞが女學校に廻はされると云ふ有樣になつて居る、併乍ら此教育と云ふものは皆未來の人間を作るのである、然るに私共老人は過去の人間である、過去の人間が未來の人間を教育すると云ふとは餘程危險なことである而して青年と異つて女子の方は未來の又未來である、即ち女子自身の未來と同時に子の未來がある、故に此位の豪い未來はないのである、然るに此大切の關係あるものを過去の人が教育するとせざると其れは實に誤つて居る、況や其教育者が男子であつたならば眞實に婦人の必要なるものを得られないと云ふことは免れない、且教育者が生徒に對しても何となく自己の趣味が加はる、自己の趣味なるものを能く鼓吹する樣に至るのである、所が前述の如く衣服を縫ふことや料理法などの趣味は殆んど男子には必要がない、其れの人が教育の一切を握つて居るのであるから勢ひ實際必要のことも自然に屆かない樣になるは免れないことであると思ふ。

第二は教育者が兎角不謹愼なる言語を放つが、之れは家庭に於て必要なる技藝智識を發達せしむる爲めに幾分かの妨げになるまいかと思ふ、其れは何處の女學校でもよく云ふこと





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てあるが諸君が嫁に行つても必ず舅姑に逆つてはいかぬ、新しい敎育を受けた者と天保時代の人間とは能く衝突することは免れない、其場合に姑舅の譯の分らぬ事はハイ〳〵と云ふて右の耳から左の耳に拔いて置けば宜いと頻りに衝突があることを預言する、耳ならず姑舅が陳腐で進歩が無いと云ふ樣の輕蔑の念を遠慮もなく鼓吹する、併乍ら此れは考へなければならぬ、日本の樣な家族制度の國は永い間家族の繼續して居るのであつて、如何なる家族にも各々家風とでも稱へるか或は社會の風習に應じて適當の理想的家庭繼續と云ふものがある、其れを敎へ樣としても中々承知しない馬鹿にして了ふ折角の良習慣が老人から受けても聞くことを爲ない、例へば昔は女が裁縫にかゝる時は針器しに刺てある針が何本あると調べて縫物にかゝる、而して終ふ時に又針を調べて一本でも足らなければ其一本を探し出す迄は止めないと云ふことが規則であつた、所が私の友人が嫁を貰つた、お嫁さんが仕事をする時にお母さんがお前仕事をする時には針をよく數へて置け、終ふ時にも調べて置きなさいと云ふと、好い加減に笑つて居つて斷定もしない、其れて子が一人生れて大層愛して居つて、所が此栗虫の樣に太つて子供が如何云ふ譯だかたゞ泣いて計り居る。其れて抱いたり、座つたり、負つて見たり乳を呑まして見ても如何しても泣き止まない、一日も二日も泣いて居る。近所の醫者にかゝつた所が薩張り其原因が解らぬから今度は杉田玄丹と云ふ人に診て貰つた所がどうも豚の緊衝てある、怪我は爲ないかと云つたが怪我は爲ない、又挫つたてはないかと云ふにさうでもない、何しろ裸になさいと云ふので能く査べて見ると何處にも變狀はないがたゞ胸の一部に赤くなつて居る所があるから能く見ると絹針が立つて居る而かも心臓に刺さつて居るから堪らない、針は拔いたけれども何して心臓に針を一本立てた爲めに折角出來た一人子を殺して了つた、又名は申上げないが日露戰爭中に海軍に有名な中將の奥樣で大層能く働らくお方があつたが、或時行水にチン〳〵沸たつた湯を盥に入れて置いて、ウメ水を汲みに行つた留守に子供がチヨイ〳〵歩いて行つて中に入ると堪らない、大人ならば直ぐ出るが子供だから仰向けになつてもがいたので遂々夫の戰爭に行つた留守に失くなつて了つた、昔の老人は其樣のことは爲ない、必ず湯を汲んで置く時には手桶に半分汲んで水を入れて置いて微温くも熱くもない樣に丁度使ひ頃にして置くのである、其樣のことを敎へ樣と思つても學校では昔の人と今の人は理想と智識が異ふからと云ふ樣の考へて何を敎へても眞實に心を開いて受けないから動もすると如斯過ちが生ずるのである、本來日本の家庭の良慣習は悉く輕蔑する、これでは自然に必要なる家庭上の發達がなからふと思ふ。

第三には小學の敎育である、日本では頻りに道德のことを重んずる國であつて小學校の讀本など誠に良く出來て居る、近く又小學校の讀本が改正になるが更に良くなるだらふと思ふ、併し私は其れは良くなるかも知れないが、此迄の讀本として修身書は六ヶ年の間に百八十九回の道德の話しをするの



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

である、日本の小學は倫理道德に重きを置き道德の課目をズッと並べたもので實際道德問題に遭遇することが少い、之れは倫理學として宜しいけれども道德と云ふものはどうしても實行しなければならぬ、而して見るに精神教育は小學には多く出來ない倫理學的に出來て居る、あらゆる道德問題を悉く網羅したものである、然らば其れが惡いかと云へば惡いことはない、即ち心要の道德は家庭で教へなければならぬ、其家庭で教へようと思つて居ても中々舊い人の道德は新しいお嫁さんは少しも用ひない、其嫁さんが子を生んで其れを育てるのであるから新しい子供が存外精神的の方面に鈍いのであるこれは今日考へものである、諸君の御存じの東京の第一中學校へ私の孫を是非入れたいと思つて入校の手續をきゝに行つた、さうすると其願書には手札形の寫眞と裏へ自筆で本人の姓名と生年月とを記して屆けるのである、然るに小學校を卒つた計りで中學へ入るのに寫眞が無ければ僞物が來る——何んと恐しいことではないか、取ると云ふのも隨分面白いことであるが僞物が來た所が後とで分るから止して了へば宜いのに小學を卒つた計りで僞物があると云ふ迄になつたのは實に子供がゴマかすと云ふことを恥ともなんとも思はないと云ふことになつてしまつた、私が矢張中學を有つて居つて學期試驗を行る、一年級の生徒に第一學期の時にチャんと學校で刷つた答案紙をやる、其殘を二三枚余計に貰つて收つて置き次ぎの學期に續けて、問題の答案を書いて來る、所が學期の度に紙の寸法を三分計り長短を生じて變へるのであるが其れを知らない、如何ですか僅か中學一年の生徒の爲すことである如斯事は中々重大の問題である幼小いうちからの家庭教育と云ふものは餘程後來國民の性格に關係する、ソ—云ふ人が發達して會社の役員となれば委托金消耗ともなれば賄賂も取ると云ふことにもなつて來る、故に其初め女子教育と云ふ事に就いて精神教育或は技藝的教育の方でも、中等よりズッと以上の妻君となるには今の教育で澤山であるけれども中等の社會の人となるには今少しく改良しなければならぬ、勿論教育と云ふものは神聖であるから其成功の部分計り見て樂觀して居るのも誤りであると同時に前述の如く弱點あるのを見て余り悲觀的に解するのも誤りである、尤も悲觀的と云ふ意味は矢張眞面目の意味である、而して此迄成功の部分を發展せしめ其缺點を改めると云ふ事が肝要で同時に之れが神聖の意味になる、其故私は決して今日の教育を悲觀的には考へないのである、諸君の知らるゝ通り此度政府は議會に種痘法案を出された、此れが中々教育問題として面白い、若し吾々が立派に種痘を濟ませても激烈なる天然痘が流行したならば、各自警戒して二度び種痘をする、况んや己の子供が未だ一度も種痘しないならば此場合實に恐るべきものである、けれども多數の人は最早種痘が濟んで居る、所へただ一人の天然痘が湧たならば自然種痘した者も爲ない者も警戒を加へる、其れと同じ様に多數の女子教育は誠に巧く申分なく發達して居るけれども、若し僅かでも恐るべき缺點があるならば矢張眞面目になつて恐れなければならぬ、一人位い愚圖のあるのは當り





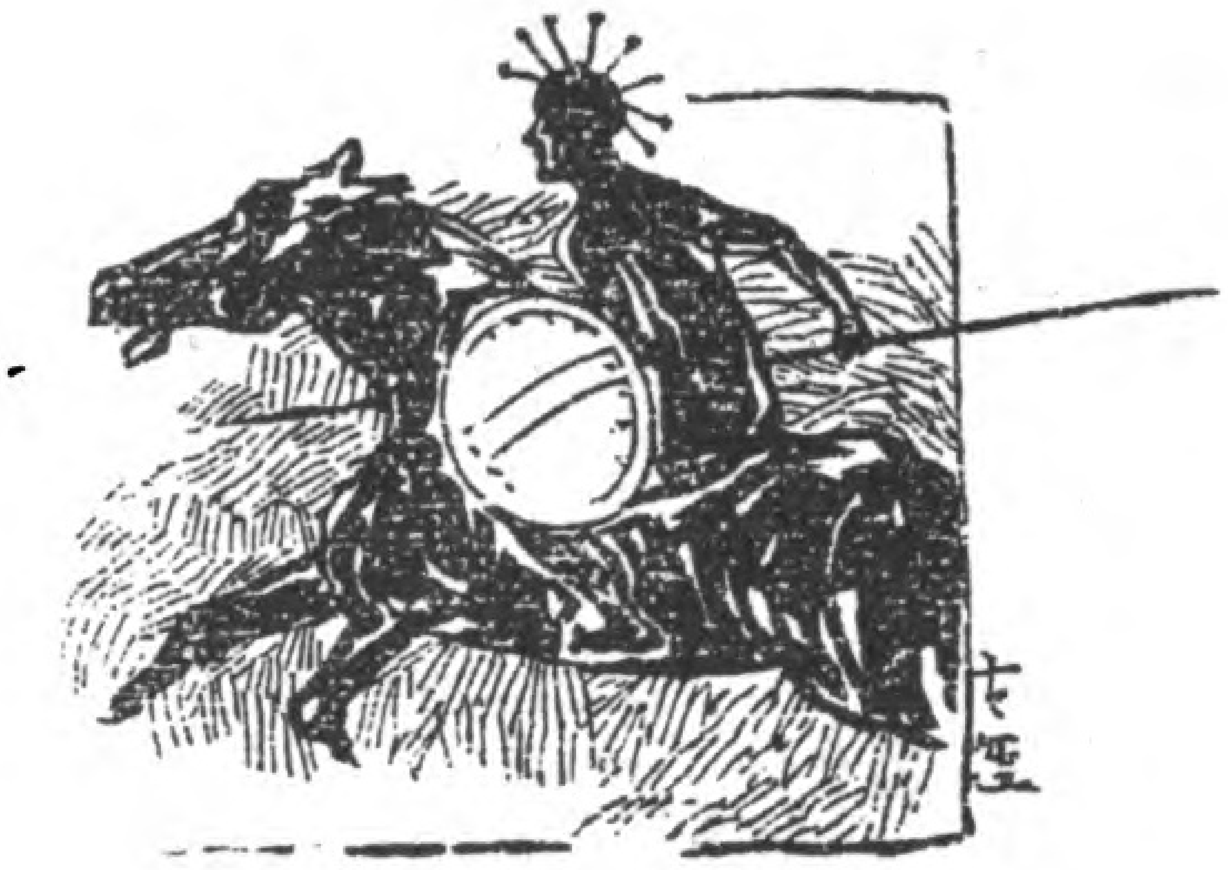
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前だと斯云ふ様のことは敎育上の神聖な意味ではなからふかと思ふ、例へば高等の敎育を受けた婦人が或は盜賊或はスリ或は詐欺取財なぞする者の妻君とならふと思つて操を汚す者が女に少くないのである、是れは其誑す者が惡いに違ひないか誑される者も惡い、併し己れの子が種痘しない時に猛烈なる天然痘が流行したならば誰れも戰慄せざるを得ない、精神の如何にも無疵な處女があつて其れを敎育社會へ出す時に猛烈なる天然痘的の破廉恥を起す者があると云ふ様ならば、諸氏の愛する女子を手放して敎育社會に出すと云ふことは恐れない譯には行くまいと思ふ、私は決して悲觀的の考へて云ふのでなくして尙全きを求むる爲めに大に精神的高潔の者は大に意を用なければなるまいと思ふ、元來吾々人間と云ふものは苦も無ければ樂もないと云ふ心を懷くことが出來ないと倫理學者は言はれる、樂の方へ行くか苦の方へ行くか始終何方かへ行くものである、換言すれば吾々理想が高い所へ行くか卑い所に行くか決して今日赤子の様な生涯は送ることは出來ない。何方へか行かなければならぬ然るに何方へか寄ると云ふことは直に精神敎育が何の位備はつて居るか即ち極く眞面目な日本の諸所の質朴なる家庭道德の方へ行くか、或は反對の虛榮の方へ行くかであるが概して女子は虛榮心に驅られて居る、其れが爲め質朴なる年上への訓言も耳に入らない様になつて了ふのは自然の勢である、虛榮心に馳せた婦人は、彼孟子の一妻一妾の譬へに恥づるのです、これは孟子が作つた有名な文章である、齊人有一妻一妾而處室者、其良人出則必饜酒肉而後反、其妻問所與飮食者、則盡富貴也、丁度大臣とか岩崎さんとかを云ふのでせう、而嘗有顯者來、始終御馳走になつて歸つて來るが立派の御方が宅に來たことがない、ソコで其妻告其妾曰く吾將瞯良人之所之也蚤起施從良人之所之、徧國中無與立談者、卒之東郭播間之祭者、乞其餘、不足又顧而之他此其爲饜足之道也、其妻告其妾曰、良人者所仰望而終身也、今若此與其妾訕其良人而相泣於中庭と云ふ事がある、尤もの話し、所が現今の虛榮心に馳せると云ふと夫の歲入に構はぬ、夫の歲入より餘計の暮しをして收入を背傾ける位の衣服を着、又は指環でも買つてやれば單ぶと云ふ風習がある、たゞ夫を苦しめる計りでない一度て虛榮心に馳せると殊に中間の家庭の妻君たる者が虛榮心に馳せることは之を極端に云へば國家の進歩を幾分か妨げるのである、即ち中間の人が健實であれば進んで社會の改良が出來るのである、殊に婦人は或は慈善の事業或は此矯風の目的或は政治上の腐敗を矯めすとかあらゆる社會の改良と云ふ事は夫計りでなく其れに連れ添ふ所の妻たるものが大に力を盡さなければならぬ、所が今日公立女學校に在る數千の女學生は出來るが此人達ちが社會の改良とか矯風の事業とか總て國家の進步發達の爲めに熱心に働くと云ふ人は誠に少いのである、今後は如何であらふか滿足が出來るであらふか、私は前述の通り大部分に於ては大成功であるけれども中等の家庭の妻として甚だ必要なる智識に缺乏を告げて居ると云ふことを感じて居る、併乍ら僅かに缺乏者があつたと云



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふことも多數の人が良ければ宜いではないかと云ふ人もあらふが彼の天然痘は一人發しても多數が戰慄する通り大切の女子敎育の範圍の上から厭ふべき破廉耻さへ起こす妙齡の婦人が一人ならず二人ならず有ると云ふ時に於て御同樣に女子敎育に對し多少警戒或は改良することは決して無益のことでなからふかと思ふ。



## 訪問

# 林歌子女史を訪ふ

（一）

大坂の博愛社といふ孤兒院に師となり母となり全心全力を盡し献身的に働いて居られる林歌子女史が目下上京して居られると云ふ事を聞いたので、一記者は三月五日早速訪問した。其訪問記を書く前に記者は些か博愛社の略史と女史の經歷とを讀者に紹介し度い。

博愛社は現在大坂府西成郡神津村、梅田停車場から程遠からぬ處に在る。元來此の博愛社は故人小橋勝之助氏が明治二十三年の一月非常なる困難と迫害の中に播州赤穗郡に創立せられたのであるが、草創の當時とて其の經營上の苦心殆んど口に云へぬ。勝之助氏自身は病身となり其の令弟實之助氏は未だ幼い、一人の敎師はあつたが新來未だ事情に通ぜず。而も勝之助氏の命は且多に迫つて居たので博愛社の前途を思ひ須臾も安んずる事が出來ず終に明治二十五年の一月書を在京の林歌子女史に送り且つ別に巖本善治氏等に告げて女史が博愛社に來られんことを謀つた。女史は福井の人、師範學校を卒業の後十年間敎育に從事し、當時立敎女學校に敎鞭を執つて居られたのであつたが、勝之助氏の此の書に接した姉は一



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事の意外に驚かれたのであつたが、勝之助氏が其多數の知人中より女史を選指したのは、女史に取り知己の感を起させたらうと思はれる。殊に此れ聖旨の命ずる處と信じて女史は非常に勵まされた。そこで女史は熱禱又熱祈、心中深く決する處あり終に「七月になりましたら吃度參ります」と答へられた。約束の七月は目睫の間に迫つた。そこで女史は其の兩親に別れを告げんが爲め一旦鄕里に歸られたのであつたが、當時未だ獻身の事業を解し得ない父母に向つて自分の決心を語る胸中の苦みは殆んど名狀す可らざるものがあつたと言ふ。久々振りの歸省、いと樂しかる可き懷かしの家門に向ひ乍ら、寧ろ屠所に牽かるゝ羊の思ひ、足遲々として進まなかつたさうである。斯くて女史は父母に向ひ「妾は死んだものと諦めて下さいませ」との強き女の一言を遺して辭し去られた。人が非常の事を敢行するに當つて世相の矛盾に苦めらるゝ誠に然るものがあつたに相違ない。かくて女史は八月二十九日といふに非常なる逆境の地位にある博愛社に入られたのであつた。夫れからと言ふものは孤兒の敎育から仕着せから食事から何から何迄一身に引受け、其の纏ふところは無論粗衣、頭髮を梳るの暇もなきもの丶如くであつたといふ事である。而も久しく學校に敎鞭を執つた身の俄かに孤兒の母となつた境遇の變と、風土の變とは交々女史の肉體を侵して熱病の捕ふる處となり、人事不省に陷つた事幾度もあつた。然し神の意を受けて切に人生の苦痛を慰めんとする志は身此の如き苦悶の重圍に立ち乍ら胸中言ふ可らざる平和に盈され、その顏は常に微笑んでゐた。平和と希望との光明の人生を照らすもの常に此の如きものがある。

超えて二十六年三月十二日、小橋勝之助氏は終に美くしき事業の爲に殉死し、前途多望なる博愛社を天父と後嗣者とに委ねて永遠の安息に入つた。創設者今や亡し。而して試練と迫害とは交々博愛社の周圍を襲つた。然し乍ら地に墜ち死んだ一粒の麥は必らず實を結ぶ。勝之助氏死去の後一年間非常なる困苦の中にあり乍ら前途の方針に就き日夜熱禱聖旨のある所を窺ひ、幸に同志の人の深厚なる同情に會ひ、終に一切を潔く打捨てゝ博愛社を大坂に引移る事となつた。時に二十七年三月十二日、偶然にも小橋勝之助氏死去の日に相當する日であつた。大坂に行かんとする一行六名が、往時を偲び前途を望み、蕭然として播州の野を旅立ちした當時の光景、誰か涙を催さぬものがあらう。

移轉後の苦難も一通りではなかつた。饑えて泣く孤兒を擁しつゝも熱心に祈り僅かの甘諸に命を繋ぐこと一ケ月に及んだ事が二度もあつた。此の間にあつて創立者の令弟實之助氏を助けつゝ獻身敎授其他萬般の家政を司つた歌子女史の艱難讀者も略ぼ推せらるゝであらう。然るに熱禱の結果は社運漸く進み、明治三十八年五月には林歌子女史が米國漫遊の壯圖を決行するに至つた。女史は當時幾多の任務を帶びて出發せられたが在留一年有半頻りに奔走して目的を達し、更に寄金一萬五千餘圓を得て歸國された。是れが爲め博愛社は第二期の擴張を見、今日は多くの田園と建築物を得、可憐の孤兒百





Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五十人を收容して居る。記者は左に女史の談話中の數項を紹介しやう。

（二）

「丁度好い時に被居して下さいました。もう少ー遅ければ私は此の七時の汽車で大阪に歸つて參らうと思つてゐましたので……イーエようこそ御訪ね下さいました。何んてムいます。此の三月の十二日は丁度創立者勝之助といふ方の亡くなられた日で十六年目に當りますし、又其日が丁度播州から大阪へ引移りました紀念日で是れが十五年目。私は其爲めに歸るのてムいます。夫れが濟めば今一度直ぐ參りまして矢張博愛社の爲めに運動しやうと存じて居ます又其時は何分よろしく………小供の禮拜堂てムいますか、エヽエ夫はモー大阪市にも無い立派なのが新築されました。是は米國の二婦人の態々其の爲めに送られた一萬二千圓の中から建てましたので。其の金高の中若干は寄附者の意志に從ひまして耕地を買ひました。夫れや此れやて所屬の地面は今約一萬坪となり農作上にも大變好都合てムいます。………保姆てムいますかイーエ、女學校を出られた方は教授の點からは好都合てムいますけれど、矢張子供を生つた驗しのある方、寡婦てムいますね、此の方が一番よろしうムいます。萬事に何うしても違ひます一のお婆さんは四人の小供を引受けて育てましたが皆よろしうムいまして四人背の順に並べて寫眞を取り其の婆さんは自分の子の樣にして喜んて居ます。………保姆は大抵信者てムいます。て無くつても長く居ますれば信者になります、矢張四圍の境遇からてムいますね。………難有うムいます何も彼も　私一人てムいますので本當に忙しうムいます。………今迄に困つた事てムいますかエヽ、エ經濟上からも又小供の仕附けの上からも隨分困りました——經濟は何時でも困らぬ時は無い位てムいますが、勝之助樣が亡くなられた時は隨分困りました、亡くなられますと其の遺産は家族の方々が博愛社に出すのを厭と仰言るのてせう、本當に困りました、夫れから大阪へ參つたのてムいました、それから一番困つたのは二度ムいましたが一度は何んてムいますよ、一ヶ月といふ間お錢は一文も御座いません、お米も無くなりました。それて食べるものは何も御座いません、私共を始め年の多い子供は皆斷食致しました。それが一ヶ月てムいましたから本當に苦みました。唯僅か計りのお藷を、皆てお祈をして小さい子供丈けに食べさせましたのてムいますが其時は本當に何うしやうかと思ひまして日夜神樣にお祈を致しましたのでムいます。そうして熱心に祈つて居ましたら何でも夜の十時過で御座いましたが或る方から十圓の爲替が參りましたのてムいますよ其時の嬉しさつたら御座いませんてした。それから直ぐお金を受け取り度いと思ひましたが、何と申してもモー夜の十時過ぎ、加之に爲替が村から一里もある處の局宛にしてあるのてムいましやう、其れにも當惑しました。俥で參らうにも夜中の事て一俥も御座いませんし致方なく私は其一里の田舍路をボトリ〳〵と參りました。而して郵便局の方に、私はこれ〳〵の者てムいます時間外れてムい

ませうけれど斯ういふ都合なのでムいますからドーゾ拂渡しなさつてと御願ひしましだ。局の方も直ぐ渡して下さいましたので夫れから直ぐそれでお米を少し計り買ひまして久々振で皆と一供に御飯を頂いたのでムいました。も一度困りました時は矢張長い間前の樣に皆斷食しましたが其時も熱心に祈りました。或日私が婦人會から歸りますと小供達は私が歸つた影を見ても集つて參りません總體私が外から歸つた影さへ見えたら其處等に遊んで居る子供が馳け集つて來て五月蠅い程先生々々と申すのですけれど、其時に限つて一人も參りません、私は今日は何うしたのでせうと不審がりそれでも好い鹽梅と思ひ〳〵部屋に入りました。そして着物を早く着代えて、も一度神樣に御祈りしようと思ひましたが、いや〳〵着物を着代えぬ前に祈りませうとすてに押入れに手を掛けたのですけれど其儘其處に伏して熱心に小供に餌を下さる樣に祈りました。祈り終つて立ちますと戸の外で「林さん〳〵と」高く呼ぶ人があります、夫れは私の懇意なページといふ宣教師でした。して申されるには『唯今米國から二十五ドル寄附が參りましたので直ぐ知らせに來た」との事。私は餘りの意外に驚いて「私は今祈り終つた計りてす、祈を御聞きなさいましたか」と申しますと「いえ知りません今來たのです」と仰言る。『彼は祈りてあり。』私は本當に祈を聞き給ふ主の惠の深い事を感謝致しました。…………子供の敎育上一番骨折るのは十才位の悪い癖の附いて居るのを矯正する事でムいます。斯ういふのは遺傳てムいませう誠に矯正し悪いのでムいますよ、それでも私共は何うにかして矯正しやうと熱心に力めます。…………私は何時も申すのてムいます、彼の雌雞が其の雛に餌を食べさせる所でムいますね、與へる計りでなく、取つて口に食べさせなくてはなりません。そして人間も矢張草木と同じく芽萌えの時が大切でムいますね――云々」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 女子大學創設者メリー、ライオン

●今より數十年前、米國に於て女子敎育に關する思想卑くして、女子に高等敎育を施すの必要なし又之を受くる素質なしと信ぜし時代に於て、夙に女子に高等敎育を施すの切要なることを主張し、之れが爲めに先づ自ら高等の敎養を受け、女子と雖深遠濶大なる學問をなし得るの實を示し、更に男子の伴侶とし、子女の母とし、社會の慰樂者とし、人類の奬勵者として必ず相當の高等敎育を享くべきことを遊說し、遂に米國最初の女子大學の基礎を置くに至つては、實に女史の人物の偉大なるを證すべし、然れども此事を成就するや決して易々たることに非らずして、初め女史の希望と計畫とを發表するや、女史の親友故舊すらも容易に之れに贊助を與ふることをせず雲烟過眼せしに過ぎざりしなり、然れども道理の存する所識者は追々之れに耳を傾くるに至り、熱情の溢るゝ所、人漸く動き、更に女史の非凡の奮發と勉强とに依り其希望を實行するに至つたる跡を知る時は女史の人と爲りの得易すからざるを知るに足るべし、尙更に女史が境遇の順ならざるに拘はらず能く貧困に堪へ、萬難を踏み、自給自活以て自らを修養し、貧苦反つて彼れの敎師となり、困難益々彼を敎養するに至り、萬事皆働きて益をなすとは、實に女史に於て之を見たり、斯の如く自奮實踐して輝ける品性を養成したるは吾人の實に感服に堪へざる所なりとす、

●然れども女史をして米國の女子敎育界に不朽の感化を遺さしめ、更に其の勢力の世界の傳道界に及ぼせるものは、其の母の敎育と感化にあるは吾人の大に注意して學ぶべき所なりとす、女史の父は剛直勤勉の人なりしも數人の子女をかよわき妻の手に委ねて死去せし後は女史の母は微かなる烟を立て辛ふじて數人の子女を養育せしなり、賤か伏屋に在つて、狹き田園より得る所の收穫を以て衣食を給し、衣服は悉か靴も亦母の手にて製せられ、女史の幼稚の時よりして儉勤の實例を敎へられ、勞働の神聖を示され、特に女子として智識學問信仰に進むと共に家庭の些事を整理し、家門の幸福を斗るは最も大切なることを浸々心底に徹する程敎へられたるは、之れ實に女史の生涯の大事業の貴重なる基礎を据へ、マウントホリヨーク大學々生に特得の氣風を與へたる光たらずんば非らざるなり、

●然かのみならず、女史に與へたる母の大なる感化は修學の精神なりとす、女史が已に或る程度の學課を卒へ直に敎師の職を取らんとするや、母は女史に告ぐるに百尺竿頭一步を進めて更に學修すべきを以てしたれば女史は欣んで之れに贊同し、一方に於て學資を拵へつゝも終に高等の學科を修むるを得たり、若し斯の如き志望の高大なる母の敎訓なくんば女史が能く大學の基礎を置き得たるやは少くとも疑問の餘地を存すと雖ども不可なきなり、今尙一事女史が母に對して

負ふところあるは信念なりとす、母は疾くより基督を信じ、其靈性上に大なる感化を實驗し、貧困の中に在つても、亦良人を失ひ頼る所少き場合に在つても活ける神は母の心の柱となり、光なり、救主となつて指導し給へばこそ勇氣を以て大膽に萬事を處することを得たり母の此活ける靈的實驗は女史の心を敎へ導きて幼より早く已に信仰の嫩芽を養ひ得、齢長ずると共に傳道事業に至大の興味を有し、外國傳道の爲めに出發する人々に對して多大の同情と尊敬とを献げ、自らの心は其人々と共に其任地に赴きつゝあることを感じたる程なりき而して女史が大學を起さんとするや其敎育主義として信仰と智識の發展を期し所謂智德兼備の女子を養成せんとしたるも一に母の信仰の感化に依るなり、思ひ來れば女史の一生に及ぼせる女史の母の感化實に大なりと云ふべく而して母たるものゝ責任の大なることは吾人の今更の如く感ずる所なりとす、

●女史の勤儉なりしは實に大なる敎訓を吾人に與ふるものにして特に現今の如き社會の風潮の奢侈に流れ、浮薄に赴く時代に在つては實に女史に就て學ぶべきこと多しとす、「貧い者を惠まふと思ふならば古い着物を脱いて與ふるよりも新らしき衣を買ふに足る金を與へよ、そうして自分其古着を綴ぎ接して着よ」とは之れ女史の勤儉の精神なり、「餘れるものを與ふる、何の慈善ぞや、足れるものを施す又慈善と云ふを得じ、自ら貧しくなりて人を憐む之れ眞正の慈善なり」とはション、ハワルドの主張及び實行にして然も之れ女史の精神と實行なりとす、女史は常に學生は敎ふるに儉約の美を以てせり、儉約せん爲めに早起、勉強、勞働、注意、細心等の美德成る上に更に他人を助くるの實成らば勤儉は如何に美なるものならずやと云へり、

●女史の精神は外國傳道を奬勵することに依つて最も多く顯はされたり、女史は傳道會社の年會に臨む毎に外國傳道の精神の雄々しくして實に基督の聖意に協へるものなることを稱揚し學校に歸つては同僚敎師若しくは上級生を集め、此事を語り共に與に外國傳道の精神を起し、之れが爲めに祈り、各自全世界の人類に對して責任あることを感じ、之れが爲めに少しにても盡力すべきことを語り勵ませり、時々學生に向ひ全世界人類の救濟のことを只男子にのみ委せ置くべき乎、否々吾人又之れが爲めに痛切に祈り、之れが爲めに成る可く多く献金し、以て自ら外國に在つて艱難を嘗むると同樣の苦心と奮發とを實行せざるべからずと云へり、斯の如き女史の精神は全校に横溢し、一度女史がペルシヤより一女敎師を請求し來りたる書簡を全校生徒の前に於て讀むや一時間内四十名の生徒及び敎師は志望者として申込みをなすに至れり、而して其中の最適任者フイデリア、フイスク孃が、一度女宣敎師としてペルシヤに至るや引續き南アフリカに、トルコ、スペーン、日本に女宣敎師として奮進するものを出し、マウント、ホリヨーク大學は恰も宣敎師養成所の如くなれり豈に盛ならずや。

●凡そ神に仕へて忠實なる事業を成就する者、大なる特色は



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彼等が深く神の攝理を信じ、大小の事必ず神の大能の導きあることを信じ、事を處し、身を持することと大膽不敵にして難を犯し、險に臨み泰然として動かざるに在りとす、ゴルドン將軍の如き、リービングストンの如き皆夫れなりとす、而して女史も亦常に大小のこと皆神に任せて憂へず恐れざるに在りとす、嘗て校中二三の病人を出せし爲めに生徒は大に恐れ病毒は校中に潛めりとし人心恟々として或者は休學して家郷に歸らんとするものさへありければ女史は病を犯かして校堂に出で全校生に對し諭けるは「諸孃よ何事も皆神の聖手に在り、決して恐るゝ勿れ、若し恐るべきものありとすれば我々の責任を知らざることゝ、而して之を知つて行はざるに在り」と此信仰に滿ち意味深き女史の訓誨は全校生を感動し皆平常の如くに學習するに至れり、

## 賢母モニア（上）

基督教の歷史を繙いて見るに、古來基督の爲めに忠義を勵み、其王國の擴張の爲に著しい功績を樹て、基督教の思想の上にも大いなる貢献をした人々のうちには、敬虔なる母の厚き信仰の感化を蒙り、其の行き屆いた注意に由りて此所に至つたものが少なくない。幼い頃に播かれた眞理の種子は一時色々な過失の爲めに其の發育を妨げられ、人生の暴風に枝を折られ、幹を枯されることもある。然かし尙ほ或る場合に臨み幼心に泌み込んだ母の教訓が犇々と胸に徹へて、一時挫折した其の樹は再び芽を出して盛んに生長し、美しき花咲き、立派なる果を結ぶに至ることがある。基督に事ふる婦人の感化は實に驚くべきものである。隨つて其の責任も極めて重大である。此等の實例として最も適切に、最も著しいものは、中世の基督教會に於て大いなる神學者として尊敬せられたのみならず、其の深遠なる思想と敬虔なる品性とは今日に於ても尊重せられて居るアウレリアス、アウガスチンと其の母モニカとの關係であらう。

モニカは紀元三百三十二年頃亞弗利加北海岸タガステの二ユミデアン市に生れた。結婚後も此所に住んで居た。其の兩親は基督信者であつたから、注意深く教育した。彼の女は勿論深く兩親を慕つたが、其の次に己が父を撫育した乳母なる老婢を非常に慕つた。其の老婢は此の一家に於て下婢と云はんよりも友人といふ位置に居り、皆んなから愛せられて居た。モニカの教育は此の老婦人の手に一任せられた。其の教育は中々嚴格で、隨分ひどく制肘したこともあつたらしい。然かし親切の餘りであつたから、却つて良い結果を見た點もある。モニカは決して靜かな、消極的な性質でなく、活潑で剛膽な婦人であつた。人に對するときは極めて快活で元氣よく、而かも甚だ深い感情を有して居た。斯る地味に於て基督教は其の根を深く下したのである。家に在つては善良なる娘として、父母に事へて居た。後ち同じ市の身分ある市民パトリシアスに嫁することゝなつた。彼が結婚後の生活の有樣は、パウロが凡そ事包容み、凡そ事信じ、凡そ事望み、凡そ事忍



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぶなりと云つた愛が、基督の力によりて人の靈魂に立派に活動し得ることを證明するものであつた。良人は善人であつたけれど、極めて氣の短い人であつた。それに異敎に心を寄せて居つたので、モニカに取りては非常に心を痛める事柄が多かつた。モニカは結婚した當座、餘り此の嫁を信用しない姑と一緒に住んで居た。然かし彼女は家のうちの禮儀を嚴格に守り、親切と愛とを盡し、柔和にして謙遜であつたから、能く家庭に浪風の起ることもなく、平和なる天地を造ることが出來た。また親切に他の家庭をも見舞ひ、其の和樂を進め、其の浪風を收めたことも屢ばてあつた。其の絶えず切望して居たことは、良人を基督信者にすることと、其の愛子等（其のうちにはアウガスチンも含む）をして天の父と救主とを信ぜしめ健全なる生涯を送らせんこととてあつた。良人も妻の殊勝なる心懸けを喜び、其の爲すがまゝに任せて、基督敎的信仰によつて其の子を敎育することに反對せず、愛兒は間もなく洗禮を受けるやうになり、自分もまた遂に救主の名によりてバプテスマを領することになつた。然かし其の後間もなく彼は此の世を去つた。其れはアウガスチンが恰ど十七の春を迎へたときであつた。モニカは優しく愛して居た良人に別れて深き嘆きに陷つたけれど、只だ常に良人の爲に熱切に祈つて居た救ひを認めて、限りなき生命に於ける信仰を同じうして死んだことをせめてもの慰めとして居たことてある。

　良人に先だたれたモニカは聖書に書いてある如く『唯神に依り賴み、夜も晝も希求と祈禱とを恒にする眞の寡婦』てあつた。彼女は再婚の思ひを毫も起さなかつた。良人の墓の側に他日自分も葬らるゝやう土地を撰んで居た位である。益す信仰を厚くし、善きことを爲すに惓むことを知らなかつた。神の言は彼女の力と慰とて、祈りは其の生命の呼吸であつた。毎日朝夕二回敎會に詣で、神の潔き言を聽き、祈りを捧げて居た。日として祭壇に供物をせぬことは決して無かつた。又當時北亞弗利加の敎會に於て習慣になつて居た如く、愛餐に供へるものを携へつゝ、屢ば殉敎者の墓に詣でた。聖徒の必要とするものを供給し、又貧民にも施濟をした。小供等の爲めに常に心を勞して、切なる祈りを捧げることを忘れなかつた。彼等が夏雲の一時は立派に峰の如く聳へても忽ちに消えて跡なき此の世の生活にのみ心を留めず、更に永遠の世界に生活するの妙味を知らしめんことを力めた。斯る高き望みを懷いて敎育したに拘らず、小供のうちには往々にして德に悖り、情慾を慾にし、又不信仰に陷るものがあつたので、幾度か母は鋭い刄もて刺されるやうな心持ちになつたことである。後ちには只だ其の愛子アウガスチンの事を最も深く心にかけ、母の務めとして如何にしてか其の墮落より救ひ出さねばならぬと寢食を忘るゝばかりに骨折つた。故に彼の女の生涯を見んと欲せば、勢ひアウガスチンの生涯を一瞥せねばならぬ。

　アウガスチンの心には幼い頃から母の日常生活に現はれた深き敬虔の念によりて強い印象を與へられた。說敎に耳を傾



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けたこともある。病ひに罹つて危篤に陷つたときには、洗禮を受けんことを母に切に願ひ、其の準備が整へられると、俄かに其の病が癒えたことがある。之が爲めに授洗するを止め、成年のときを待つて正式に之を受くることとした。斯く幼き頃は信仰が厚かつたが、青年時代になつて情慾とか快樂とか云ふ誘惑に負けて其の方に深入りするやうになつた。十七歳にしてマドウラから歸省したときは、文學と雄辯學とを學んで非常に其の才能を現はし、更にカルゼエジの大學に行つて科學を修める仕度をして居た。然かし其の放慾なる性癖は父の死後一層甚しくなつた。已に肉的の生活を慾にするのみならず、基督敎の信仰を離れてマニ敎に心を寄せるに至つた。マニ敎とは基督敎と異敎とを混同し、其れに一種の想像的哲學を加味したものである。之を見た母モニカの悲しみと痛みとは一通りでなかつた。彼女が最も神聖なりとするものに向つて、其の子から嘲弄の言を投げかけられるときの母の心は張り裂けんばかりであつたに相違ない。彼女は涙を以て常に絶えず其の失ひたる子の爲めに祈つた。然かし其の子の墮落は益す甚しいので流石優しい母も遂に憤りに堪へず、其の子と別れて其の爲すにまかせることにした。がまた氣を取り直して必ず其の子が生れ替ることがあるに相違ない、一層深い愛を注いで之を守らねばならぬと思ひ返へした。或る日會堂で此のことを思ひ廻らしつゝ嘆き悲んで居たとき、圖らずも監督から太いなる慰めの言を聞いたこともある。又或るときは幻影を見て大いに力付けられたこともある。彼女が泣きながら立つて居ると、一人の逞しい青年が穩和な容貌をして其の前に來り、何故に泣かるゝかと問ふ。彼女曰く「吾が子の墮落の爲めに悲んで居ます」と、其のとき青年は泣くことを止めて我を見られよと云ふ。モニカ仰ぎ見ると豈に圖らんや、其の青年はアウガスチンであつたと云ふ幻影である。彼女は之を以て天よりの啓示と信じ、新しき希望を以て益々切に祈つた。其の希望は屢々遂げられることではなからうと思はれることもあつた。アウガスチンは母の涙を一向に注意して居らぬ。結局彼は之をうるさがつて母と遠ざることを考へ、或る夕私かに逃れて以太利に走つた。母は其の後を追ひ、之と共に往んことを望んだけれと出來なかつた。海濱の殉敎者シプリアンの會堂の前に立つて、隱れ行く船影を見やりつゝ泣いて居た。アウガスチンはカルセイジに於て雄辯學の敎師たるよりも更に一層活動することの出來る廣い世界に飛び出さんと欲し、天下の道は羅馬に通ずと云はれた以太利の首府に向ひ、大いなる野心を懷いて渡航したのである。





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# もしほ草

## イ、ストルの朝

「主實に復活りたまへり。」

十字架の悲しみは復活の喜びとなれり。死の苦痛は生命の凱歌と變りたり。棘の冕は榮光の其れとなりね。罪の力は滅されて、救ひの恩寵確立せり。人生の新しき意義、此の朝に於て發揮せられたり。

我は此の感謝すべきイ、ストルの朝に於て「基督の模倣」の著者とともに祈りぬ。「主よ、我は若き時より今日に至るまで嘆はしくも爾の怒りと義しき憤りとを惹き起したる我が許多の罪、過失、腐敗せる性癖、悪しき習慣等を悉く燔祭として、御前に献ぐ。おゝ主よ、爾の祭壇の前にて此等を屠り罪の些の汚點をも殘らざるやう、爾の愛の火にて燒き盡したまへ。此等の汚れより我が良心を清め、其の記憶を拭ひ去りたまへ。我が罪と故意の怠慢とによりて屢ば失ひたる爾の恩寵を復び我に還したまへ。再び爾の助けの慰めを與へ、爾の自由と新にする聖靈とを我に確實ならしめたまへ。かくて過き去し事の全く赦されたる保證として、父の如く我を懷き、和睦と平和との接吻もて爾の愛情を明かにせられんことを祈る。爾が御子耶蘇の贖罪を受け容れらるゝ爲め謙遜りて告白し、深く悲しみ、心より祈るの外、爾の義しき法律に對して不正と大膽なる無禮とを働きたる我は、何を以て滿足することを得んや。我は心より我が罪惡を哭しみ且つ之を惡む。爾の恩寵によりて再び斯の如き罪を犯すことなからん。……おゝ主よ、赦したまへ。爾の故をもて躊躇したまふ勿れ、おゝ我が神よ。たゞ爾の最も貴き血もて贖はれし爾の僕の靈魂に爾の恩寵を貯へて之を光榮あるものとなしたまへ。視よ、我は自らを全く爾の恩寵に托し、我が靈魂を爾の手に委ぬ。」

## 手綱を神に托せよ

我等の生涯は戰爭なり。喬木風多しの諺に漏れず、我等の理想高ければ高きだけ激しき戰ひを戰はざる可らず。正義に味方し、飽まで眞理に忠ならんとせは、强敵の爲めに思ひも寄らぬ障碍を蒙り、奮闘を餘儀なくせらるゝこと多し。己が品性を修養する上に於ても常に斯る苦々しき經驗を甞めざるはなし。我等は屢ば志を立て、大いに德に進まんと欲す。而かも其の志を挫かれ、其の氣を沮ましむる事情頻々として起り來るを如何せん。「壞れたらまた立て直せ霜柱。」げに壞れ易きは我等の心かな。されど神我等と共にありてふ事實は百萬の味方を得たるに優りて力あり。我等實に弱し、されど神に於て强きを得るを感謝せざるべからず。

ヘンリイ、ドラモンド曾て甚だしく飲酒の習慣に陷れる靑年のことを語れり。彼件の靑年に曰く

「君假りに馬車のうちにあり、馬は今しも丘を驅せ下りつゝ



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あり、而うして君は全力を盡すと雖も、之を制御すること能はすと想像せよ。君之を如何にせんとするか。」
『余は何をも然す能はす」と青年は答ふ。
『然れども君の傍に君よりも強き人ありて、馬を制御し得べしとせは如何。」
『然らは余は手綱の其の人に托すべし』。
ドラモンド此所に於て青年の心に訴へて曰く『君の情慾は狂ひ猛りて、君自らの力にては之を制すること能はず。然れども君の傍に之を制御し得るもの立てり。君また如何にせんとするや」と。
青年其の意味するところを感得せり。而うして深く心を動かされ、遂に叫んで曰く『餘は手綱を其の方に托すべし」と。我等が志を成就し、人生の善き戰を勇しく戰ひ得る所以は只だ我等が携ふるところの手綱を神に托するの外なからん。

## 會報

### 大坂市ウヰルミナ女學校青年會

二月三日午後二時四十分より各級各々其敎室に於て祈禱會を開く、題は「行爲の道しるべ」本科五年生の當會の模樣を略述すれば

司會者　大中京子
開會の讃美歌　第七十七
聖書朗讀　ヨハネ傳二章一―十二
感話　司會者
祈禱　阿竹、井端

其他本題に付て四五人の感話ありて後閉會す
二月十日　題「新なる心靈」聖書はヨハネ傳三の一―八
二月十七日　題「工人の必要」
二月二十四日午後二時四十分より講堂に於て講演會を開く此日敎會の牧師山田氏は迷へる靈に一日も早く天父の御許に歸れとて熱心なる說敎をせらる

司會者　山本きよ子
讃美歌　四百三十八
聖書　詩　十九
祈禱　司會者

### 横濱共立女學校青年會



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二月十四日(日曜)午後四時三十分より豫ねて東京本部の命により横濱女子青年會の祈禱會を開催す。會場は山手ふゑりす女學校、司會者は同校教師岩佐氏、會する者男女共約二百五十名、順序は左の如し

一、讃美歌(二百二十八)
一、祈禱　司會者
一、奬勵　阪野教師(共立)
一、讃美歌(二百三十七)
一、祈禱　五六名
一、讃美歌(百十九番の一二節)
一、祈禱　二三名
一、讃美歌(殘りの三節)
一、祈禱　二三名

斯くして後讃美歌もて閉會せんとするに臨み、突然バラ教師の起ちて感話する所あり、かくて讃美歌二百三十四番を會衆一同歌ひ散會せしは同六時頃なりき。

三月十三日　當日豫て依賴せし日本基督教青年會同盟部幹事小松武治氏の來るありて「ゴーマスに現はれたるミルトンの貞操觀」なる題の下に一時間餘に亘る講演あり、折柄當日は降雨烈しかりし爲來聽者少數なりしも會せしものは皆多大の利益を得て散しぬ。

三月二十五日　當校に青年會を組織せし以來其第二期も當日を以て終りとすべければ本日第三期事務執行委員を選擧せんとす、結果は追て報告する所あるべし。

## 小石川女子傳道學校青年會報告

神の御祝福の下にさゝやかなる集りを開くを得て誠に嬉しく感謝いたし居候左に其大略を御報告申上候

一　本月中に催されたる集會の種類及回數
　講話會　二回　役員會　一回
　役員祈禱會　三回　送別會　一回
　役員改選會　一回
一　集會者總數　百十六名
　內　正會員　七十二名
　　客員　十五名
　　準會員　二十九名

四十二年三月五日役員滿期につき改選したる結果左の如し
　會長　鈴木よし子
　書記　關本いち子
　會計　伊能たけ子

三月廿二日午後三時半より傳道女學校卒業生の爲め送別會を開く樂しきまた親しき會なりき

主の御恵みに依り本月二名の入會者を得たり

## 盛岡市基督教女子青年會

此度河井先生御來盛下され候につき當青年會は三日間講演會を開催いたし候元より有益なる講演ならんとは豫て期し居り候へ共豫想外の盛會にて來會者は智に於て靈に於て大に益する所ありしを信し當青年會は東京本部幷に河井先生に對し滿腔の感謝を表する次第に候



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# YOUNG WOMEN OF JAPAN

*Vol. VI.* *April, 1909.* *No. IV.*



Mrs. H. Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss A.G. Lewis, Recording Secretary
Mrs. G.M. Fisher, Treasurer
Miss Michi Kawai, Active Member of the World's Committee
Miss Sumi Miyagawa, Corresponding Member of the World's Student Christian Federation

| Resident Members | Non-Resident Members |
| --- | --- |
| Miss A. B. West | Miss K. Tristram, Osaka |
| Dr. Tomo Inouye | Miss N. B. Gaines, Hiroshima |
| Miss Hama Hirano | |
| Mrs. Koharu Nakajima | |
| Miss Uta Suzuki | |

Miss A. Caroline Macdonald, General Secretary
M. L. Matthew, Assistant Secretary.
Headquarters :— 15 Dote Sanbancho, Kojimachi, Tokyo


## 明治の女子

一、「明治の女子」は日本基督敎女子靑年會中央委員が發行する機關雜誌也。

一、「明治の女子」は一年分郵稅共金五拾錢一部郵稅共金五錢とす。

一、日本基督敎女子靑年會は靑年女子の衞生、社交、智識、靈性上の發達を計るための團體也。

一、日本基督敎女子靑年會中央委員左の如し。


委員長　井深花子
副委員長　岡見恵子
記錄書記　エ、ジー、ルイス
會計　フィシヤー
萬國基督敎女子靑年會同盟委員　河井道子
萬國學生基督敎同盟會委員　宮川すみ子

東京在住委員
エ、ビー、ウエスト　井上友子
平野濱子　鈴木歌子
中島小春

地方在住委員
大坂　ケー、ツリスツラム　京都　佐伯いと
京都　デントン　名古屋　ウインウイルソン
廣島　エヌ、ジー、ゲインス　神戸　デフヲレスト

日本女子基督敎靑年會幹事　エー、シー、マクドナルド
同副幹事　エム、エル、マシウ




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四十二年四月十五日發行 (每月一回十五日發行)

明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

# YOUNG WOMEN

## OF

# JAPAN

*Vol. VI.* *April, 1909.* *No. IV.*

## CONTENTS

**EDITORIALS:—**

The Bible Study Movement throughout The World

**CONTRIBUTED:—**

One's Desire and Prayer

Mrs. Browning.

Miss. F. Hayashi and Her Work.

**SERMONS:—**

Education of Girls. Mr. Ebara.

**BIOGRAPHIES:—**

Mary Lyon.

Monica.

**MISCELLANEOUS:—**

Easter Morning, Trust in The Divine Providence.

**REPORTS:—**

(東京神田美土代町 三秀舍印行)



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA